

会長挨拶

この度、令和3年度第2回理事会にて、鈴木崇英会長の後任として、一般社団法人住宅性能評価・表示協会の会長に就任しました中澤でございます。

就任に当たりまして、まず、これまで協会の発展にご尽力されました鈴木前会長に敬意を表し、心より御礼を申し上げたいと思います。

鈴木氏は、当協会が2008年に一般社団化となって以降13年間会長を務められ、この間に会員数は98機関から128機関に増え、設計住宅性能評価書の交付割合も新築住宅着工戸数の概ね30%にまで伸長しております。また、長期優良住宅の認定、住宅の省エネ性能の向上に向けた活動等も加わり、当協会は大きく発展してまいりました。

私は、「住宅の品質確保の促進等に関する法律(品確法)」が施行された2000年以来、評価・審査機関の経営に携わってまいりましたが、この経験を活かして、また、副会長をはじめとして役員・会員の皆様方の協力を賜りながら、当協会に期待されている役割を果たしていけるよう努力してまいります。

さて、当協会では会員機関の公正かつ適確な業務の実施を図るため、技術審査マニュアルの作成等の共通基盤の整備、また、第三者として評価・審査等を行う機関としての信頼性の確保、並びに住宅性能表示制度を始めとする関連制度の普及促進等に努めてまいりました。

国土交通省及び所管行政庁よりご指導を賜り、会員機関並びに関係者の皆様にご理解、ご協力いただきましたことを心より御礼申し上げます。

今後の課題としては、住宅の品質確保やカーボンオフセットの実現のために良質な住宅ストックの確保がより必要となってまいります。このため安心安全な住宅・建築物の公正中立で信頼される評価、判定機関である当協会の果たすべき役割が、より社会から期待されることと思います。

会員機関の皆様とともに、業界の更なる発展と地位向上を目指し、甚だ微力ではございますが、会長としての職務を全うすべく全力を尽くしていく所存でございます。

つきましては国土交通省はじめ関係各方面の皆様からの引き続きのご指導、ご鞭撻、ならびに会員機関皆さま方のより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。会長就任の挨拶とさせていただきます。

令和3年6月

一般社団法人 住宅性能評価・表示協会
会長 中澤 芳樹